



楽々亭通信

第28号
令和5年2月1日号

発行：NPO法人没イチの会・京都

一月の楽々亭は 休会といたしました



布施について

本願寺派布教使
安堂芳雅

■お布施の多い少ないによつて功德が違う？

こんにちは、安堂です。会員さんのご要望で、今年『歎異抄』を一緒に味わっています。

先月は第十八条の、初めての4行を深掘りしました。

「**報**」が「**別**」

「**施**」す「**量**」

「施量別報」という間違つた考え方について、書かれたものです。

平たく言えば、「お布施の多い少ないによつて、受

ける功德が違う。」という何とも俗っぽい考え方で

私たちは日頃、ギブ（与

ける）の取引思考で生きていますから、「たくさん出せば、たくさん返ってくるのが当たり前」と思つてしまふのです。

「今年の子供の受験だから」「仕事が勝負の年だから」「大きな手術を受けるから」と、例年よりお賽銭を奮発されたことはありませんか？

それは、「お布施の多少によつて、功德が違う」という考え方からきた間違

■お布施本来の意味を考えてみましょう。そもそも「布施」とは、

仏道を歩むものが行う「行」で、

① 法施↓仏法を伝え広める

② 財施↓財物（金品）を分かち合う

③ 無畏施↓恐れを除き、癒しと勇気を与える

の三つに分かれます。

たとえば、私が楽々亭でさせていただいているのは、①の法施です。

皆さんがご法事などで包まれる「お布施」は、②の財施にあたります。

お布施Ⅱ「お経の代金」・「お経をあげてもらったお礼」と思いがちですが、御布施は私たちがさせてもらう、仏教の実践「行」です。

「お布施のポイントはこちら」

お布施のポイントはここ

待したり、何か裏心があつたりすれば、それは布施にはならないのです。

しかし世の中には、施す財や、伝える仏法がなく、ましてや人様の恐れおのきなどを取り除くことなど思いもよらないという人もたくさんおられます。

お釈迦さまは、いつでも、どこでも、だれでもが思いやり支えあう心をもつて、「させてもらえる」ことが七つあります。すとおしやっています。

「無財の七施」

一、眼施（げんせ）↓優しいまなざしで接すること

二、和顔施（わげんせ）↓おだやかな顔で人に対すること

三、言辞施（ごんごせ）↓心のこもった言葉を使うこと

四、身施（しんせ）↓自分の体で心から奉仕すること

五、心施（しんせ）↓自分以外のものの為に心を配ること

六、床座施（しょうざせ）↓席を譲（ゆず）ること

七、房舎施（ぼうしゃせ）↓雨や風をしのぐ所を与えること

（お遍路さんに宿を提供するのも、喜んでさせていただきます）

穏やかな顔と優しいまなざしで、心もこもった言

葉とともにできることをさせてもらうことが仏教の実践としての「行」となるのです。

【注意】浄土真宗では、このよ
うな布施を、悟りに近づくため
の功德を積む修行とは考えず、
阿弥陀さまのおすくいを慶びお
礼申す報謝の行としています。

今回の楽々亭には、ご主人を
亡くされたMさんが久しぶりに
参加されました。
去年の八月に来られた時は、ず
っと泣き顔だったMさんです。

そのMさんの笑顔に、「安心し
ました」「私は娘がいなから、
娘のようであれしい」「こうして
また会えて、よかった」と参加し
た皆が温かなものを受け取って
いました。

ああ、これがお釈迦さまがお
説き下さった、だれでもが「さ
せてもらえる」布施行だなあと
感じていました。

般若心経の心と自分

先日協会のスタッフとテレビ
を見ていて、死刑制度賛成、反対
と議論しましたが、私は反対と
持論を引け散らかしてしまい、
後で後悔してしまいました、い
え決して自分の考えが間違っ
ていると言う意味ではなく、自分
の心の中にしまっておくことで
あったなと思っただけです。

人の死を身近で見えてきたの
は、中学時代におじいさんの死、
高校時代に同級生の自殺、京都
のお婆さんの死、30代になっ
てお袋の死、大阪のお婆さんの
死、おじさんの死、女房の父親の
死、そして女房の死。

人が死ぬとはどういうこと
か、未だにわかりません、自分が
死んでみたらわかるってです
か、人間ほど不可実性な動物は
いないかも、いえ生き物すべて
そういえませぬ、あなたはいっ
死ぬのですか？などと意地悪な
質問をしても意味の無いこと
でしょうか、

この年のなると朝目覚めると
今日も生きていた、又苦しい一

日が始まると毎朝思うのです。う
つ病にかかっていますかね。今年
の年末を迎えて今考えているこ
とは、自分は何をしているのか、
何をしようとしているのか、それ
が分からなくなっているのに分
かっているかのように振舞って、
人と笑ったり、怒ったり、悲し
んだり、そこに何の意味があるので
でしょうか、などとふてくさって見
たり、そうしているうちに何か分
かってくる何か見えてくると感
じているのかも、実像の私と、
虚像の私の使い分けが難しくな
ってきています。

ビジネスをしていて(話は飛び
ますが)お金儲けをしようとする
気がありません、儲けてどうする
のか、目的が持てません、困った
代表ですね、こうしたら儲かりま
すよと、儲かる道を示すことは出
来ます。ですがそれを実践行動に
移すのに躊躇してしまうのです。
誰かが私の言う通りに実践して
くれれば儲かるのに。

ビジネスでの成功の概念が違
うのかも知れませんが、トラは死
んだら皮残す、人は死んだら名を
残す。これにこだわっているのか

も。

以前ある方に般若心経の
“色即是空、空即是色、色不異
空、空不異色”を未だに50数
年かかっても分かりませんが、いま
いったことがありますが、いま
だにわかりません。

数年前女房と二人で上野公
園を散歩していたときに、弘法
大師様の展示会が行われてい
ましたので、入ってみました。
薄暗いところで、弘法大師の遺
品等が展示してありそれを眺
めるでもなし、眺めていたら突
然私の頭の中に言葉がどんど
ん湧き出してきて、急いで薄暗
い中で、ペンはあったのです
が、書き留める紙が無かったの
で、パンフレットの白く開いて
いる部分に書き留めました。
(次回ご披露いたします)

楽々亭 2月の予定

2月15日(水)
西京区役所洛西支所会
議室
午前10時～12時
12月に開催した場所
です。
表玄関口から。

楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都
住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328
MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。